写真 13　閖上中学校全面の津波の痕跡（2013.4.20. 撮影）
移動の最中にこの場所で津波に襲われた避難者も多かった.

写真 14　閖上小学校の屋上に避難した被災者（小齊 [15] による）
小学校には 1000 人もの避難者が収容されていた.

写真 15　避難場所となった閖上小学校（2013.6.1. 撮影）

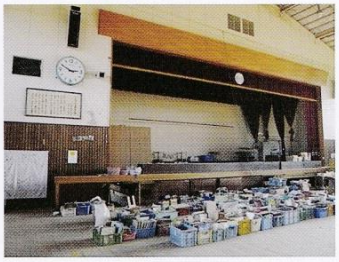

写真 16　閖上小学校体育館の時計は 14:47 で止まっている（2013.6.1. 撮影）

よれば 689 人もの犠牲者（2013 年３月７日現在の名取市による資料）を生じた最大の原因は避難行動の遅れにあるものと考えられる．またその背景には，「津波は貞山堀を超えない」，「津波の前には貞山堀が干上がる」等の根拠の乏しい言い伝えの存在があり，閖上港に近い日和山に建てられていた昭和三陸津波の記念碑［14］にも，津波の被害が閖上地区で小さかったことをわざわざ記録しているほどである．さらに，地震発生直後から津波襲来までの 70 分間に亘って閖上地区で写真を撮影し続けた地元住人の証言［15］によれば，閖上地区の多くの人々は津波のための避難行動は取らずに，地震で壊れた家具やガラスの片付けの方に気を取られていたとのことである．もう一つ重要であるのは，名取市の防災無線が機能していなかった点であり，強震動によって無線装置に不具合が生じたためとされている．しかしさらに深刻なのは，避難指示が地域に届いていないことを市の防災担当が確認していなかったことにあり，このことが後々まで問題になっている．

閖上地区における犠牲者の多さは，図８に見られるように，人口に対する犠牲者の比率が全体で凡そ 14% に達するという数字に現われており，特に，やや内陸側の閖上２丁目では，犠牲者の数は人口の 24%（４人に１人）にも達している．先の NHK の調査によれば，最初の避難行動は主に指定避難場所である閖上公民館に向かって行われたようである．その後かなり時間が経過してから，カーラジオ等で津波が予想以上に大きいとの情報が伝わり，多くの人々が閖上中学校に向かって移動することになり，人と車で混みあった移動の最中に津波に襲われるという事態が発生したようである．地域の方に伺ったところ，避難して助かった人の数は凡そ公民館で約 40 人，閖上中学校で約 800 人，閖上小学校では約 1,000 人とのことであった（写真 12 ～写真 16）．

3.4 東松島市立野蒜小学校の場合

東松島市の野蒜小学校は，野蒜海岸から約 1 km 離れた平地の奥に位置しており，背後には間近に丘陵が迫っている（図９）．学校は指定避難場所となっていたが，その場合には避難者を体育館に誘導することになっていたと